



令和7年度 学校経営方針 市川市立高谷中学校

1 学校教育目標 「心豊かで、たくましく生きる力をもった生徒の育成」

2 目指す学校像

- ・生徒、教職員が生き生きと活動する学校
- ・生徒、保護者、教職員が誇りに思える学校
- ・地域と共に歩み、地域を大切にする学校

3 目指す生徒像

- ・主体的に判断し、自律的に行動できる生徒
- ・他者と協働し、粘り強く学び続ける生徒
- ・健康で最後までがんばり抜く生徒

4 目指す教師像

- ・豊かな人間力を有し、生徒の模範となる教職員
- ・授業を大切に、指導力を高めあえる教職員
- ・チームワークを生かして協働する教職員

5 経営重点目標

(1) 知：確かな学力の育成

①「対話」を基盤とした探究的な授業づくりを実践する。

②教師と生徒、生徒と生徒の信頼関係を基にコミュニケーションを図り、「自己存在感・自己肯定感・自尊感情」を育む。

(2) 徳：豊かな心の育成

①「考え、議論する道徳」授業の実践を通し、他者と協働しながら自らの考えを形成することのできる資質・能力を育成する。

②特別活動や体験活動などの自治活動を通して、主体性を育む。

(3) 体：健康で最後までがんばり抜く生徒を育てる

①命の尊さを理解し、自他の命を大切にする生徒を育成する。

②基礎体力の向上を図り、生涯にわたって心身の健康を保持増進することのできる生徒を育成する。

6 令和7年度経営重点方針

(1) 確かな学力の育成

- ・探究的な学習を通して「希望の登校 満足の下校」を実現する
- ・対話を通じて新しい考え方や価値観を生むことのできる生徒を育成する
- ・読書活動を推進する

(2) 小中一貫型小学校・中学校「信篤三つ葉学園」の発展

- ・「わが町未来探究科」における小中の系統を構築する
- ・全教職員が信篤三つ葉学園の取組に参画する

(3) 心の教育の充実

- ・不登校支援ルーム（ピアルーム）の活用の幅を広げる
- ・外部機関との連携を図りケース会議を効果的に活用する